

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第7部門第2区分
 【発行日】平成17年8月25日(2005.8.25)

【公開番号】特開2001-345482(P2001-345482A)
 【公開日】平成13年12月14日(2001.12.14)
 【出願番号】特願2000-164691(P2000-164691)
 【国際特許分類第7版】

H 0 1 L 33/00
 C 0 9 K 11/00
 C 0 9 K 11/80
 // F 2 1 S 2/00
 F 2 1 Y 101:02

【F I】

H 0 1 L	33/00	M
H 0 1 L	33/00	N
C 0 9 K	11/00	A
C 0 9 K	11/80	C P P
F 2 1 Q	3/00	C
F 2 1 Y	101:02	

【手続補正書】

【提出日】平成17年2月23日(2005.2.23)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

第1波長の光を出力する発光素子と、前記第1波長の光により励起され、第2波長の光を出力する蛍光体とを具備し、前記蛍光体は、板状又はフィルム状であり、かつ、塩化ビニル、樹脂、テフロン及びポリプロピレンを含む弾性又は延性を持つ材料から構成されることを特徴とする発光装置。

【請求項2】

前記蛍光体は、YAG蛍光体を含む1つ以上の蛍光体の集合から構成されていることを特徴とする請求項1記載の発光装置。

【請求項3】

前記第1及び第2波長の光は、共に、可視光であることを特徴とする請求項1記載の発光装置。

【請求項4】

前記第1波長の光は、紫外光であり、前記第2波長の光は、可視光であることを特徴とする請求項1記載の発光装置。

【請求項5】

前記合成光は、白色光であることを特徴とする請求項1記載の発光装置。

【請求項6】

側面が反射板となる凹部を有するパッケージと、前記パッケージの凹部内に搭載される半導体発光素子と、前記半導体発光素子上において前記凹部を覆うように配置されるフィルム状又は板状の蛍光体とを具備し、前記半導体発光素子から出力される光と前記蛍光体から出力される光の合成光を放射することを特徴とする発光装置。

【請求項 7】

凹部を形成する第 1 及び第 2 リードと、前記凹部の側面を形成する反射板と、前記凹部内において前記第 1 及び第 2 リードに跨って配置される半導体発光素子と、前記半導体発光素子上において前記凹部を覆うように配置されるフィルム状又は板状の蛍光体と、前記第 1 及び第 2 リードの一部並びに前記蛍光体を覆う樹脂とを具備し、前記半導体発光素子から出力される光と前記蛍光体から出力される光の合成光を放射することを特徴とする発光装置。

【請求項 8】

不可視光によって励起され、可視光を出力する蛍光体を有する表示体と、前記表示体に向けて前記不可視光を放射する光源とを具備し、前記光源は、半導体発光素子により構成されていることを特徴とする蛍光表示装置。

【請求項 9】

不可視光によって励起され、可視光を出力するフィルム状又は板状の蛍光体と、前記蛍光体の表示面の裏側となる裏面に配置され、前記蛍光体に向けて前記不可視光を放射する半導体発光素子からなる光源とを具備することを特徴とする蛍光表示装置。

【請求項 10】

前記光源は、規則的に配置される複数の LED ランプから構成されることを特徴とする請求項 8 又は 9 記載の蛍光表示装置。